

厚生労働大臣
加藤 勝信 殿

令和3年度厚生労働省関係予算要望事項

特定非営利活動法人全国LD親の会
理事長 井上 育世

COVID-19 の流行により、社会のあらゆる場面における「新しい生活様式」が求められている中、発達障害児とその家族、また障害児者に関わるさまざまな人たちの人間的な諸権利が守られ、社会生活が成り立って行くための施策を要望します。

【厚生関係】

1. 発達障害者支援センターの専門相談員および職員を増員すること

発達障害者支援センターは、発達障害者が一番身近な支援機関として活用する機関であり、相談者が急増しているにもかかわらず、専門相談員や職員の増員が不十分な状態にある。地域支援機能が強化されれば、支援や相談を待つ時間も減り、必要な配慮等が迅速に受けられるようになる。

2. 身近な地域での発達障害児者およびその家族に対する支援を推進すること

- ・二次障害を予防するため、早期発見と早期発達支援を一体化して行うこと
- ・保育所等訪問支援事業(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等の派遣)を拡充すること
- ・児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業の支援の質の向上と支援内容の適正化を図ること
- ・成人期以降の発達障害者(特に在宅者)とその家族への支援(地域生活支援)を拡充すること

3. 乳幼児から成人までの発達障害に対応できる医療機関を拡充すること

- ・発達障害の専門医師の養成・研修(LDを主訴とする場合の診断研修の充実など)を行うこと
- ・幼児期・学齢期における精神投薬の適正使用についての指導を促進すること
- ・虐待を受けた発達障害児に対する専門的療育体制を整備すること

4. 発達障害者に対する情報支援体制の整備を拡充すること

- ・市町村役所等の窓口において、発達障害者に確実に情報が提供される環境を整備すること(意思疎通支援・合理的配慮の提供等)

5. 発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策の整備・周知

- ・発達障害者対象の福祉避難所の設置、緊急避難体制の確立、障害者対象の避難訓練の実施を図ること
- ・緊急時でも連携を図って対応を取れる「トライアングル」プロジェクトを構築すること

【労働関係】

＜重点要望事項＞

1. 継続して働き続けるための支援を充実すること
 - ・ジョブコーチ、障害者就業・生活支援センターによる職場定着支援及びリワーク支援を強化すること
 - ・地域生活支援の強化、グループホーム等の拡充を図ること
 - ・精神障害者保健福祉手帳を取得して働く発達障害者は多いが、精神障害者への支援とは異なるため、発達障害の特性にあった職場定着支援を強化すること
2. 発達障害者に対する相談体制の整備と多様かつ効果的な職業訓練、職場実習制度を充実すること
 - ・ハローワークにおける合理的配慮(よりきめ細かな就労支援・職場定着支援)の実施を進めること
 - ・高等学校・大学等と就労移行支援機関の連携を強化すること
 - ・発達障害者の職域拡大のための訓練カリキュラムを開発・実施を進めること
 - ・企業側への実習等の受け入れを促進させる制度を構築すること
3. 発達障害者の雇用を促進すること
 - ・地域障害者職業センターにおける職場適応援助者(ジョブコーチ)の増員と研修の強化を図ること
 - ・障害者試行雇用(トライアル雇用)事業を拡充・促進すること
4. 公的機関における発達障害者の雇用を促進すること
 - ・公的機関における発達障害者の雇用についての数値目標を達成し、かつ働き続ける環境を設定すること
 - ・公的機関における発達障害のある人のチャレンジ雇用を推進すること
5. 雇用・就業関係機関職員や事業所に対する発達障害関係の研修を充実すること
 - ・ハローワークの職員に対する研修を充実させること
 - ・障害者就労支援機関・若年者就業支援機関の職員に対する研修を充実させること
 - ・事業所に対する発達障害者の雇用管理のノウハウの普及啓発を図ること
 - ・発達障害の特性を踏まえた効果的な支援技法や、職場における合理的配慮の提供についての理解啓発を進めること
6. 障害者就業・生活支援センター事業を拡充すること
 - ・障害者就業・生活支援センターの増設、職員の増員(生活支援ワーカーの増員)を図ること
 - ・職員の発達障害に対する研修を充実させること
 - ・職員の長期的展望に基づく育成、処遇改善を図ること